

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

「支部長会議」報告



後援会支部委員
諏訪部 真理 (千佳 / 理工学部)

6月5日(土)、オンラインにて支部長会議が行われました。清水伸行2020年度後援会会長のあいさつに続き、大学の小澤雄司常務理事からあいさつと大学の近況報告をいただきました。次に議長の清水会長から、ウェブサイトで実施した2021年度後援会総会の電子表決の結果報告があり、2020年度事業・決算報告(案)、2021年度役員選出の全てが承認されました。議事においては、今年度はコロナ禍でも「支部総会・父母懇談会」が円滑に開催できるように、オンライン(Zoom)を用いた新たな取り組みについて説明がありました。また、支部出身者に向けた奨学金制度の創設について、後援会

事務局の関口広之進事務局長より説明がありました。

会議の後半では、2021年度「新生父母の集い」の開催状況の報告がありました。各支部からは、今後の活動予定や、支部活動の役員選出で苦労されていることなどの報告があり、今後継続して議論していくことになりました。

支部長会議は、友利方彦後援会新会長のあいさつで、締めくくられました。これからも後援会は「子どもの母校は我が母校」の mottoの下、大学に協力し、学生が安心して学校生活を送れるよう支援してまいります。引き続き、ご理解ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

「後援会役員研修会」報告



後援会副会長
相澤 さえ子 (俊輔 / 情報科学部)

6月19日(土)、市ヶ谷キャンパス大内山校舎7階Y702教室にて、ハイフレックス設備を利用し、会場・オンライン参加併用による後援会役員研修会が開催されました。この役員研修会は毎年1回、法政大学の教育理念や大学が目指す役割についての理解を目的に、大学の教職員の方に講師をお願いし、ご講演をいただいております。

今年度は、友利方彦後援会会長のあいさつに続き、「Withコロナ、Postコロナの法政大学」というテーマで、廣瀬克哉新総長にご講演いただきました。2020年度を失われた学年にしないため、コロナ禍においても学生がオンラインで授業を受けられるよう整備し、感染状況でリスクをレベル分けし、機敏に対応しながら対面授業の再開を進めるなど、大学の取り組みを丁寧に詳しくご説明いただきました。



※ハイフレックス設備：対面授業をオンライン授業として同時配信する、ハイブリッド型授業用の設備

「茨城県支部 新生父母の集い」報告



茨城県支部長
原恵三子 (祐介 / 経営学部)

5月23日(日)、水戸京成ホテルにて「新生父母の集い」を2年ぶりに開催し、1・2年生の保護者の皆さまに会場とオンラインの両方でご参加いただきました。

小金井事務部学務課の糸井史博主任からは、「ウィズコロナ時代の大学における授業、学生生活について」と題するオンライン講演がありました。参加者アンケートでは、大学の状況や対面授業への前向きな姿勢が分かって安堵したという感想が多く見受けられました。続く懇談会では、関心事として「コロナ禍での生活対応(メンタル面も含む)」「コミュニケーションの取り



方」「大学の授業、単位の修得、将来の進路(就職)などが挙げられ、人とのつながりがこの上なく大切である

との共通見解に至りました。今回の集いを通して、保護者が我が子を深く思うのと同様に、大学に対しても強い思いを抱いていることを認識しました。今後も「子どもの母校は我が母校」の mottoの下、一番の応援団として活動を進めてまいります。創意工夫をしつつ、キャンパス見学会、大学祭、六大学野球や駅伝の応援などを実現させたいと思います。

新役員も無事選出でき、今後の活動がより活発になることを期待しています。大学憲章の「自由を生き抜く実践知」の言葉に内包されているのとおり、学生の皆さんには、しなやかに世の中を生き抜く力、自由なスピリットを礎とし、さまざまな体験を通して精神性の高い学びを獲得していただきたいと願っています。創造性と課題に向き合う力が、危機をチャンスに変える実践知につながると信じます。学生の皆さんが豊かな人生を歩めるよう、茨城県支部後援会は応援してまいります。

「栃木県支部 新生父母の集い」報告



栃木県支部長
高山 友樹 (雅貴 / 法学部)

栃木県支部では、5月23日(日)に宇都宮市内のホテルニューイタヤで「新生父母の集い」を開催いたしました。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となったことから、2年生の父母も含め、1・2年生合同での開催としました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、プログラムの変更、より広い会場への変更、会場参加とオンライン参加の併用開催など、例年とは大きく異なった父母の集いとなりました。

今回の参加者は、新生父母が15人(会場参加9人、オンライン参加6人)、2年生父母が13人(会場参加9人、オンライン参加4人)の計28人でした。栃木県では状況が落ち着いているとはいえ、コロナ禍での開催であり、参加者は例年より少なくなるだろうと思っておりましたが、予想以上に少なかったことに驚きました。

参加者の皆さまは、初めは緊張気味でしたが、学務部学務課の伊藤賢治課長の講演に熱心に耳を傾け、質疑応答では予定時間をオーバーするくら

い多くの質問が出ました。その後の懇談も、和やかな雰囲気活発な意見交換が行われました。

準備の段階から手探りの上に、2学年合同での開催とあって、支部役員全員で準備、運営に当たりました。当日スムーズに進行できたのは、役員一人一人がその場その場で、臨機応変に対応してくださった成果だと思います。これからのウィズコロナ時代に、役員同士が信頼関係を持って活動し、会員全員が安心して参加し、情報交換を行える場となるように考えていきたいと思



2021年度 後援会の主な事業

2021年度(2021年4月～2022年3月)の主な事業計画は以下のとおりです。

事業項目	主な事業	
1.父母懇談会※1	支部	・36支部で「支部総会・父母懇談会」を開催 7月3日(土)～8月29日(日)
	首都圏	・東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の父母を対象に3キャンパスで開催 市ヶ谷キャンパス 10月3日(日) 小金井キャンパス 10月10日(日) 多摩キャンパス 10月9日(土)
2.後援会活動の活性化と適正化	・各種会議へ参加※1 ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議	
3.支部における諸活動(任意)※1	・新入生父母の集い ・キャンパス見学、会員相互の親睦を図るための活動の企画・実施 ・支部による学生課外活動の支援	
4.学生・大学への助成	・新型コロナウイルス感染症、自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・広報活動などへの補助 ・その他、学生・大学活動への助成	
5.広報活動	・広報誌「法政」掲載の「後援会だより」、後援会ウェブサイトの活用 ・スポーツや文化活動の情報発信 ・「会員のための大学ガイドブック」の作成	
6.大学関係者との連携強化※1	・大学との各種懇談会の実施 ・校友会との相互連携	
7.法政スポーツコミュニティー(HSC)・学生支援※2	・学生スポーツの応援、文化系学生の課外活動のサポート	
8.その他※1	・対外組織との連携	

※1 2021年度は、新型コロナウイルス感染症などの拡大状況により、活動内容や開催方法を都度判断する。

※2 各種団体の応援ガイドラインなどに基づきサポートを行う。

2021年度 法政大学後援会運営委員



前列左から西山広二郎副会長、相澤さえ子副会長、友利方彦会長、諏訪部真理副会長、石井亘副会長
後列左から滝沢かおり総務、市瀬恵美子総務、小林こずえ総務、浅見佐亨総務、鯨岡光男総務、松崎浩司総務、白鳥高総務



法政大学後援会事務局

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎4F
TEL: 03-3264-9350
FAX: 03-3264-9367
E-mail: koenkai@hosei.ac.jp

後援会ウェブサイト
<https://www.hosei-koenkai.org/>



2021年度後援会総会 電子表決結果のご報告

2021年5月21日(金)～5月31日(月)に、後援会ウェブサイト上で2021年度後援会総会の電子表決を行いました。以下の全ての議案において、行使された議決権の賛成が半数を上回り、2021年6月5日(土)付けにて決・承認されましたことをご報告いたします。議案の内容は、後援会ウェブサイトに掲載しています。

※電子表決が行われない場合は、議長に一任として取り扱いとします。

【議案】

- ・第1号議案「2020年度事業・決算報告(案)」
- ・第2号議案「2021年度予算(案)」
- ・第3号議案「2021年度事業計画(案)」
- ・第4号議案「2021年度役員選出」

後援会ウェブサイト
<https://www.hosei-koenkai.org/>



キャリアセンター職員による会員向けオンデマンド動画配信

例年の父母懇談会で、会員の皆さまにご聴講、ご参加いただいておりますプログラム、大学職員による「就職状況」等に関する説明を今年度もオンラインにて公開しております。

■「就職状況」等に関する説明(資料・動画)

閲覧、視聴には、後援会ウェブサイトの会員限定特設ページにアクセスし、IDとパスワードの入力が必要です。

<https://www.hosei-koenkai.org/members>



広島県支部長
藤井克彦(健一郎/理工学部)

「広島県支部 新入生父母の集い」報告

広島県支部では5月23日(日)、オンライン参加による「新2年生・新入生父母の集い」を開催しました。当初は、会場・オンライン参加併用開催の予定でしたが、広島県に新型コロナウイルス感染症拡大防止の緊急事態宣言が出されたため、支部役員で検討の結果、会場参加を断念し、オンライン参加の実施としました。



昨年度は、コロナ禍で新入生父母の集いをはじめ全ての行事が中止となり、現新2年生の父母との交流が全くできない状況だったため、オンラインとはいい交流を実現できなかったのは大変良かったです。今回は、新2年生の父母との交流が全くできない状況だったため、オンラインとはいい交流を実現できなかったのは大変良かったです。

社会学部事務課の平田雄大主任(当時)による講演「ウィズコロナ時代の大学における授業、学生生活について」の後、支部役員の自己紹介があり、新2年生・新入生の父母からお子さんの学生生活の様子をお話しいただきました。コロナ禍でオンライン授業が主となるなど、通常のキャンパスライフが送れず、大変なご苦労をされていることがわかりました。今後、後援会活動を通じて会員の皆さまと交流を図ってまいりたいと思います。